

# キトー山梨本社

KITO YAMANASHI HEAD OFFICE

No. 13-077-2023作成

新築  
事務所・展示施設

発注者	株式会社キトー	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/EB
設計・監理	株式会社竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社竹中工務店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

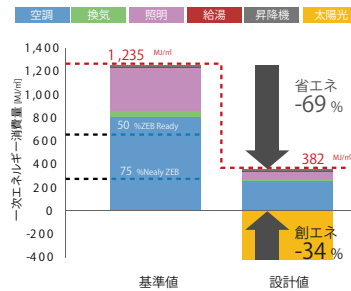
## 「葡萄棚」に学ぶゼロエネルギービルディング



芝生広場と外観全景

### 山梨の環境資源と知恵を活かした環境建築

計画地周辺には、富士山・八ヶ岳・南アルプスに囲まれた雄大な景観と甲府盆地によって生まれた豊かな水資源があり、甲州式棚栽培の葡萄棚が織りなす風景が広がっている。これらをヒントに、富士山への軸線・地下水利用による輻射空調と雑用水へのカスケード利用・エキスパンドメタルで構成した庇による日射制御を取り入れ、山梨の豊かな環境資源と知恵を生かした建築を実現した。



省エネ計算結果



富士山軸線を意識し豊かな環境に囲まれた新社屋

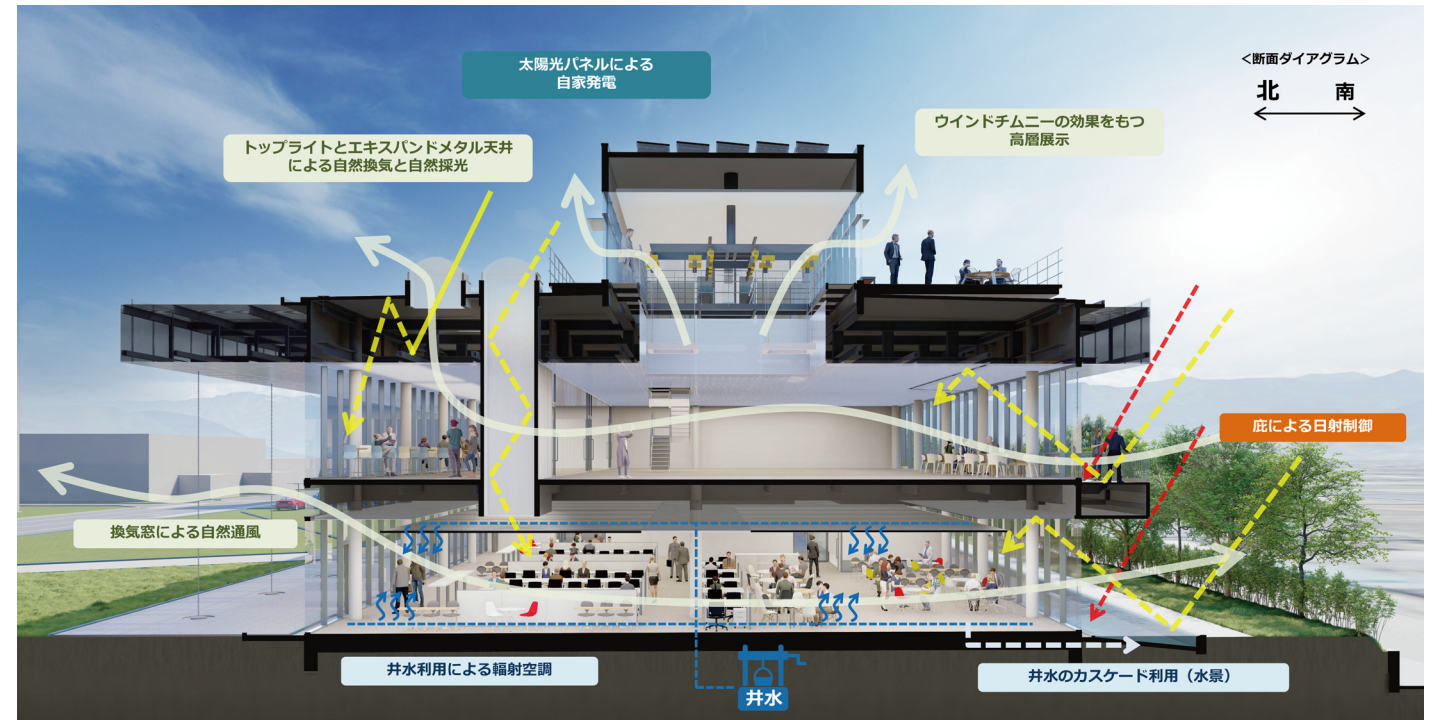
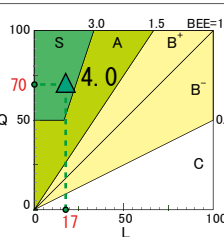
### さまざまな人が集まる大きな「葡萄棚」

山梨の原風景である「葡萄棚」を体現するフィーレンディール架構の大庇によって、ここに訪れるさまざまな人を包み込む。周辺の環境や風土を感じてもらい、コミュニケーションが促進されることを目指した。また山梨の気候風土を活かした知恵としての「葡萄棚」の仕組みを参考に、エキスパンドメタル天井を介して自然通風と自然採光を行っている。



光と風を透過する大きな「葡萄棚」

建物データ	所在地	山梨県甲府市	竣工年	2023年	敷地面積	162,713m <sup>2</sup>	延床面積	3,571m <sup>2</sup>	構造	鉄骨造	階数	地上2階
省エネルギー性能	BPI (標準入力法)	0.69	BEI (標準入力法)	-0.03	LCCO <sub>2</sub> 削減	75%	BELS	★★★★★	Net ZEB			
CASBEE評価	Sランク		BEE=4.0		2021年SDGs対応版		第三者認証					



山梨の環境資源と知恵を活かした建築システム

### 自然を楽しむサステナブルなワークスペース

環境センサーによる自動自然換気・自然光導入や、地下水を利用した輻射空調によって、周辺環境の豊かな景観や自然を享受し、心身ともに健康に働けるサステナブルなワークスペースを目指した。また、地下水・太陽光など再生可能エネルギー利用による環境負荷低減を図り、そのエネルギーの見える化を行っている。



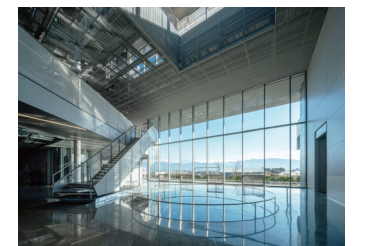
自然換気促進サイン



エネルギーの見える化



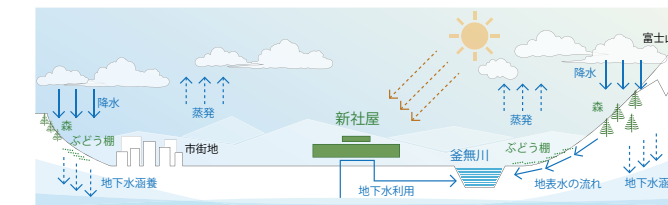
輻射空調天井の事務室



輻射空調床のエントランス

### 山梨の水資源サイクルに組み込む建築

山梨県では生活や地域産業の基盤として地下水を利用している。新社屋で使用された地下水はカスケード利用され、気化冷却とライトシェルフ効果をもつ水盤として、室内に良好な光・空気環境をもたらす。大気と地下を循環する水資源サイクルの中に新社屋の水循環を組み込むことで、山梨の自然環境に根付いた環境建築を実現した。



水循環のダイアグラム



地下水のカスケード利用による水盤を足元に富士山を望む

設計担当者

建築：梅原豊、中橋哲史、齊藤康男、福田久展、森知史／構造：中根一臣、田部正樹、西牧誠／設備：阪口洋・伊藤素行・田中荘太郎・池田直樹

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2.2. 耐用性・信頼性 (井水の空調利用および雑用水への利用、非常用発電機、基準法の1.5倍の耐震性確保)
- Q3.1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化、外来種対策、自生種の保全等に配慮した植栽計画、水盤)
- LR1.1. 建物外皮の熱負荷抑制 (高断熱、Low-e複層ガラス)
- LR1.2. 自然エネルギー利用 (井水利用、太陽光発電、自然換気、自然採光)
- LR1.3. 設備システムの高効率化 (天井輻射空調、床輻射空調、井水利用による高効率化、明るさセンサーによる照明制御)
- LR1.4. 効率的運用 (エネルギーの見える化、用途ごとの計量)